

# あっちこちみらい会議

あっちこちみらい会議とは、町内のいろいろな所で未来について語り合う場です。テーブルを囲むメンバーで、それぞれが描く地域の未来像を共有し、そのイメージに向かって参加者が一歩踏み出すためのきっかけにさせていただく会議です。

## よさの百年の暮らし委員会 (みらいふ)

6月7日(水)よさの百年の暮らし委員会にお伺いしました。まず、第2次与謝野町総合計画の策定方針「住民参画×職員参画」についてお話し、策定に向けての最近の動きを紹介しました。

策定コンセプトの一つに「みらい志向でつくる」がありますが、地域の未来を語り合う前に、自分自身の未来年表を作っておくことって意外と難しいですね」という声と共に、テーブルを囲む皆さんの笑い声が絶えませんでした。

与謝野町や日本が抱える課題(人口減少、少子高齢化、産業の衰退、財政の弱体化、など)について共有した後、与謝野町の10年後をどんなまちにしたいかを一人ずつ発表していただきました。

「学びと住まいのまちにした



次回7月11日(火)にもう一度お伺いし、「しあわせなまちを実現」するための方法を話し合います。

# 中学生みらい会議がスタートしました

与謝野町内の三つの中学校と京都府立加悦谷高校、京都府立宮津高校のご協力により、将来の与謝野町を担っていく中学生・高校生が「まちの魅力が発見する」「まちの未来を描く」時間と、生徒の皆さん同士が語り合う場として中学生みらい会議がスタートしました。中学生・高校生の皆さんの視点で飛び出す声や想いを拾います。

## 加悦中学校編

加悦中学校では、6月6日(火)の3年生総合学習「安良タイム」1時間目を事前学習の時間とし、役場職員から与謝野町のこと、町の未来のこと、町の取組事例を紹介しました。地方が抱える問題や課題を知り、そして今、このまちで動き出している取組をスライドや映像を通じて、「ふるさと」「ふるさとの魅力」「ふるさとの未来」が3年生の皆さんの目にとどるよう映ったのでしょうか。

## 橋立中学校編

橋立中学校では、3年生の総合学習「阿蘇タイム」を「ふるさと発見」「ふるさと発信」に力を入れて取り組まれています。ふるさとを知ってもらいための事前学習を進めてきた3年生の皆さんは、修学旅行先の東京お台場で「ふるさと発見アンケート」を実施され、外から見たふるさとを知る貴重な経験をされました。

修学旅行を終えた生徒の皆さんから、未来のまちづくりへつながる中学生の視点、想い、声を拾うために、6月8日(木)橋立中学校にお伺いし、3年生のグループワークに参加させていただきました。

グループワークでは各班が車座になり、自分たちのアンケート結果と事前学習や映像を踏まえ、ふるさとの強みや良いところを出し合い、活かすためのアイデアとその効果、実現に必要なことを真剣にそして楽しく、和やかな雰囲気で見ました。

を未来に残す方法を考える予定としています。

## 宮津高校編

例年、京都府立宮津高校では「OB特別対談 与謝野町長と語ろう」と題した町長との対話授業を実施しています。今年は総合計画策定に合わせる形で開催することとなりました。

## 宮津高校編

6月9日(金)、町長との対話授業を前に事前学習に集まった生徒の皆さんは21名。1年生から3年生まで、そして住まいも宮津市、与謝野町、京丹後市などの幅広い参加があり、生徒の皆さんの想いや声の広がり、期待を寄せながら、宮津市、与謝野町について、まちの未来について、町の取組事例についてスライドと映像を交えてお話ししました。

次回6月23日(金)はいよいよ町長との対話授業です。「ふるさとの魅力とは?」「どんなまちにしたい?」など、高校生の皆さん一人ひとりの中にある想いと未来像を、町長と一緒に語り合います。

今後は各班がまとめた作業に入り、7月にクラス発表、全体発表へと続きます。

## 宮津高校編

例年、京都府立宮津高校では「OB特別対談 与謝野町長と語ろう」と題した町長との対話授業を実施しています。今年は総合計画策定に合わせる形で開催することとなりました。

## 宮津高校編

6月9日(金)、町長との対話授業を前に事前学習に集まった生徒の皆さんは21名。1年生から3年生まで、そして住まいも宮津市、与謝野町、京丹後市などの幅広い参加があり、生徒の皆さんの想いや声の広がり、期待を寄せながら、宮津市、与謝野町について、まちの未来について、町の取組事例についてスライドと映像を交えてお話ししました。

次回6月23日(金)はいよいよ町長との対話授業です。「ふるさとの魅力とは?」「どんなまちにしたい?」など、高校生の皆さん一人ひとりの中にある想いと未来像を、町長と一緒に語り合います。

THE YOSANO FUTURE PRESS

# 与謝野みらい新聞

## 第四号

与謝野みらい新聞  
2017年6月23日発行  
発行所 与謝野町役場  
編集 企画財政課  
総編集 総合計画策定委員会  
ワーキングチーム

# よさの愛

みなさんの想いを、集めています



- 1 よさの愛
- 2 よさの想い人
- 3 あっちこちみらい会議
- 4 中高生みらい会議

## よさの町への想い

阿蘇シーサイドパーク、森林公園、大江山運動公園などで皆さんの町への想いを教えていただきました。公園や街角などで、皆さんにご協力いただき「ひまわりシート」は、現在160枚になりました。それを、与謝野町への想い「愛」と考え、皆さんから頂いた想いでハート形「よさの愛」をつくります。

ひまわりシート1枚1枚には、皆さんが思う町の魅力、町の未来が込められています。皆さんの想いで大きなハートを描きますので、皆さんの想いをもっともっと聞かせてください! 関連記事23面へ

## Information



### みんなで描く 与謝野のみらい

総合計画策定専用 Facebook を開設しました。策定の動きを随時アップしています。

いいね! をよろしくお願ひします。

## 住民参画

### × 職員参画 // 総合計画 ②

#### みらい志向でつくる

ひまわりシートには、皆さんが思う町の魅力と宝物をたくさん込めていただきました。これらは、私たちが未来へ残していかねければならない大切なものです。

地方が抱える人口減少や少子高齢化問題、財政事情は決して国や自治体だけの話ではなく、私たちの身近なことにも当てはまっています。子どもたちに、孫たちに何を未来へ残していきたいのか。そのために自分は何をするのか。自分の身の描いた未来を一つひとつ実現していくことは、未来に向かう一人ひとりの営みでもあり、未来のまちを形づくることでもあります。今を生きる私たちが未来を創造し、将来世代のために一緒に考えていきたいと思います。

## 与謝野みらい会議開催日決定

- 日時 8月27日(日)午後から
  - 場所 野田川わくばる
- ※詳細は後日発表いたします

## 職員ワーキングの動き

### REPORT



各庁舎の待合スペースに、与謝野みらい新聞を掲示しています。窓口手続きの待ち時間や庁舎にお立ち寄りの際に、ぜひご覧ください。



### 板列神社宮司 岩本 正明氏(東町在住)

#### ●宮司のお仕事とは?

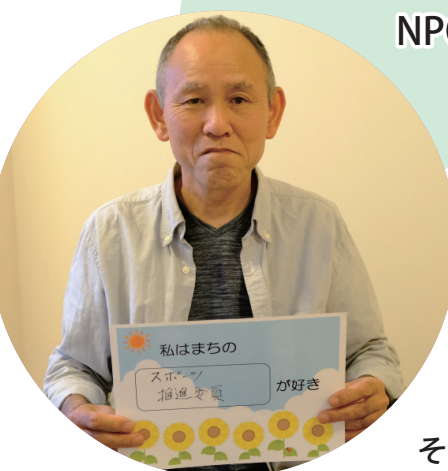
一言で言えば、昔でいう「ムラ」をまとめる仕事で、祭りを通じて地域の人々を縦・横で繋ぐことであり、その繋がりを維持することだと思っています。祭りを簡素化すると地域の繋がりが薄くなっていき、地域の人との連絡網や様々な情報共有、助け合いや思いやりに影響が出ます。お宮参りに来た子どもが大きくなり、「地鎮祭をした家が無事に建ちました」とお礼に来てくださると繋がりを感じられ、嬉しいです。

#### ●地域活動で想うことは何ですか?

「どうすればお年寄りが元気にできるか」を考え、特に一人暮らしの高齢者の方が孤立しないように、地域へ出かけて少しでも元気に過ごす人を増やそうと活動しています。地域の幼稚園や保育所との交流を通して、孫のいない人にも子どもたちと遊ぶ感覚を味わってもらっています。

#### ●与謝野町の未来に残したいものは何ですか?

人とのつながりを残したいです。地域の運動会は復活したいですね。



### NPO丹後福祉応援団副理事長 奥仲 輝雄氏(三河内在住)

#### ●町の課題は何ですか?

何をやるにしても、人がいないとスムーズに話が進みませんので、大きい企業等の若い人の働く場が必要だと思います。

#### ●このまちをどんなまちにしたいですか?

楽しく、健康で過ごせ、人と人の支え合いを大切にするといいなと思います。

#### ●次世代に残したいものは何ですか?

やりたいことにチャレンジできる環境を作り、そういった環境を残していきたいです。

### 町民の想いを集めるインタビュー

# よさの想い人

総合計画策定ワーキングチームが、みなさんが感じる"今"と"未来"の与謝野町を伺いました。

### 自営業 堀尾 いづみ氏(石川在住・福島出身)

#### ●与謝野町に来られて、この町の宝は何だと思われますか?

まずは海の幸、山の幸、お米など食べ物がおいしいところ。丹後ちりめんという昔からの産業もあり、特別な何かではなくて、地域自体が宝だと思います。そして人懐っこい人が多くて、人が暖かいと思います。

#### ●最近の与謝野町の印象、今後与謝野町に期待することは?

最近、町に少しずつおしゃれなものが増えてきた印象です。例えば、地域を見て回れて、自然をアートに見立てるみたいなの、そういう見せ方はとても大事だと思います。若い町長になられて、変わろうという節目だと思います。わざわざ与謝野町に泊まりに来てもらえるようになってほしいです。他市町村とうまく連携してできたら楽しいと思いますし、食で盛り上がってほしいですね。

#### ●20、30年後の子どもへ期待することは?

一度、町外に出て都会を見てほしいです。でも、いずれは地元に戻ってきて近くにいてほしいと思うし、生まれ育った地を愛してほしいと思います。



### TANGOリハビリ研究所 松本 健史氏(明石在住・大阪出身)

#### ●与謝野町との関わりは?

13年前に与謝野町に来ました。大阪出身なので、大阪に帰る予定で仕事を探しているときに、ご縁があって与謝野町へ来ることになりました。介護の仕事をしてきて、地域の活性化を目的に"地域のリハビリ"を自分なりにできればと思い独立しました。たまたま近所で壊そうとされている家があり「もったいない!」という思いから、民家を改修し皆で集まれる場「アケテラス」を開きました。

#### ●"地域のリハビリ"、地域の活性化のビジョンは?

「アケテラス」はお年寄りの集いの場としてももちろんですが、介護職の方々のつながりができる場として、ケアについて情報共有し、高めていくことができることを期待しています。また、介護保険外のこともできる場にしたいです。

#### ●高齢者の元気を維持できる方法とは?

今の介護は寝たきりになった後に介護することが一般的ですが、寝たきりにならないようにすることが一番大切です。元気なお年寄りは作った野菜を売る、皆で食べるというのが楽しみになって、生きがいにもなると思います。



### (有)誠武農園取締役 大江 卓氏(石田在住)

#### ●農業の道を選んだきっかけは?

高校卒業後、綾部市にある農業大学校に行きました。その後、城陽市の農家さんの下で修業し、与謝野町に帰ってきました。最初は自分が経営者になって農業をしてみたいと思っていましたが、夢と現実にギャップがあり、農業をしたいと思いつつも違う仕事に就きましたが、30歳になる前に1回だけチャレンジしようと思っていたときに、誠武農園さんに出会いました。

#### ●今後挑戦したいことはありますか?

「おいしい野菜だね、おいしいお米だね」と言ってもらえるように頑張っていきたい、与謝野町の良い農産物を外へ発信していきたいです。与謝野町には結構若い農業者がいるので、今がチャンスだと思います。年に数回集まる機会を作っているのと、与謝野町の農業のことを発信していける体制を、皆で手を取り合いながらできたらと思います。

#### ●23年後の与謝野町がこうなっていればいいなというイメージを教えてください

与謝野町で現役で農業を続け、若い人に教えながら農業ができていたら幸せだと思います。



### NPO法人加悦鉄道保存会所属・自営業 小田 大輔氏(金屋在住)

#### ●与謝野町の好きなところを教えてください

一番好きなのは加悦鉄道。加悦鉄道に関連しているちりめん街道にも愛着があります。炉辺で好きな物(地元で採れる魚や野菜などの自然の恵み)を焼いて食べられ、山水で冷やした野菜を楽しむことができ、空気がおいしいなど「THE 田舎」なところですよ。

#### ●与謝野町で今後やってみたいことは?

加悦鉄道保全に努めることはもとより、奥滝にかつてあった「わさび谷」の再生活動や温江でホテルがたくさん飛んでいるという話を聞いたことがあるので、たくさんホテルが見れるよう再生計画に取り組んでみたいです。

#### ●まちづくりに関して、課題に感じていることは?

地域のために行事や活動に励んでも、「あの人は普段暇なのでは?」という見方をされることがあって残念です。仕事で忙しい中でも、地域のためにと思自分の余暇を割いていることを理解してほしいですね。地域のことと仕事の両立は大変ですが、やりたいことはたくさんあります。みんな多忙な中で生活しているので、行政、住民関係なく、みんなで取り組んでいき、第2次与謝野町総合計画の策定についても、積極的に参加していきたいと思っています。

### あつぷるふぁーむ会社役員 中谷 忠史氏(滝在住・大阪出身)

#### ●与謝野町の良いところは?

元気がいい人が多いです。特に年の大きい人がエネルギーを持っているように感じます。なんでもやってみようという姿勢を持っている人が多く、それを実行に移す動きが速いと感じています。

#### ●与謝野町をどうやったら良くすることができる?

「与謝野ブランド戦略」のような自分達の基準を作り、他がやっていないような新しいことに挑戦していくことかなと思います。また、仕事で農業をしているので、例えば、与謝野町の名前を聞けば米や野菜がおいしいところというイメージが作れたらと思うし、与謝野町のブランドにできたらという考えを持っています。



### クリーンクラブ代表 蒲田 吉弘氏(浜町在住)

#### ●浜町クリーンクラブお掃除隊の活動を始められたきっかけは?

地域で草刈やごみ拾いなどの掃除を誰がするのかを話し、町にお願いするのも一つの手段でしたが、自分たちでやってみようと思ったのがきっかけです。3年ほど前から2人で始め、すぐに2人加わり計4人でスタートしました。活動を始めると既に活動されている方などおられたため、他の区と合同で実施するなどして活動の範囲が広がっています。

#### ●将来の与謝野町を「こんな町にしたい」や「次世代に残したいこと」などありますか?

一番は大名行列を残していきたいです。10年毎の実施では肉体的精神的に体がもちませんので、大規模の大名行列は10年に1回、小さい規模の大名行列を短いスパンで実施したいと思っています。自分だけではできないことでも、同じように思っている仲間がいるからやりたいと思っています。

#### ●次世代に残すために、広がれば良い取り組みはありますか?

具体的にはわかりませんが、阿蘇海で遊ぶことを推進する前に、遊ぶ前に海を綺麗にすることを考える必要があると思います。「10年先はこうなしてほしい」を考えるのも良いけど、今現在が楽しくなければ10年後は楽しくないと思います。今できることのでかか楽しんでいくかだと思います。

